

クルマのミニカー＆プラモデルの専門誌

ミニカーの最新情報と
モデル制作のお供に！

モデルカーズ6月号 第19巻第6号 平成30年6月1日発行 毎月1回1日発行
自動車模型の専門誌 [モデル・カーズ] 6月号

ホビタス
www.hobitas.com

2018-06

265

model cars

僕らとグループ5の
ファーストコンタクトは
トミカだった



LB★WORKSが
3インチで楽しめる
時代が来た！



定アイテムを
方にご紹介

The dawn of
Turbo-Wars era

ツーリングの夜明け

レットフォーミュラ創成期を振り返る

年間で52戦中43勝を挙げたRCの怪物 POLO R WRC



Sport: Tomohiro YOSHIDA (吉田史洋)、問い合わせ先: アオシマ文化教材社 (tel.051-263-2595)

VOLKSWAGEN POLO R WRC 2016

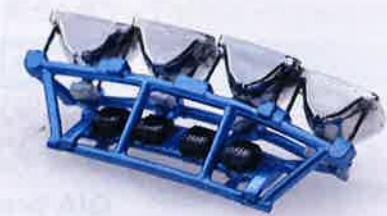
KITS 1/24スケール 價格: ¥5,800 (税別)

ルクスワーゲン・ポロ R WRCは、2012年12月、華やかなイルミネーションに彩られたカルロ・カジノスクエア(モナコ公国)にてドレミアが行われ、翌2013年シーズンを果たした。WRCを席巻すべく1年開発期間を費し熟成を重ねたマシンも第2戦フィンランドで初優勝。その後に勝利を重ねて年間13戦中10勝の好成績を収め、デビュイヤーにして初のタイトル獲得を遂げた。その後も連覇を果たし、フォーランのワークス参戦最後となる2016年戦中9勝と、実に4年間で52戦中43勝を挙げた。ユーファクチャラーズとドライバーズのダブル4連覇を達成して、フォルクスワーゲンとライバーのセバスチャン・オジェを、名実ともに王位へと導いた。

制作したキットは、新旧の欧州製ラリー



4連覇を達成したオジェのマシーンをモデリング



近年のラリーカーの特徴である迫力のボディスタイルと大型のリアスピーカー、ロールケージで固められたインテリアなど、ポイントを押さえたソソのないキットとなっている。カーモデルで重要なポイントである車高やトレッドも、ターマック仕様ならではの低く構えた迫力の併走が楽に再現できる。このモデルでの最大の難関はデカール貼りで、発色、艶、下地の隠蔽が申し分無かったのだが、材質が若干硬く糊も弱めのようだ。貼り終えて乾燥した後からも剥がれる箇所も見受けられたので、その辺りに留意して、塗装でカバーできる部分はなるべく塗装し、デカールの面積は極力減らすことをお勧めしたい。

ボディの修正と塗装・デカールのコツ



01ホイールハウス内、シャシーに対して水平方向にバーツを取り付ける穴はインストの寸法指示を参考に自身で開孔の必要あり(リア側 片方で4箇所) 02フロントフェンダーとバンパーの分割線のモールドが曖昧で実写と異なるので修正。03フロントフェンダーの矢印の辺りは不自然なラインから滑らかなラインに。04パネル分割線は0.125mm、ドアやトランクのオープニングラインは0.2mmのBMCタガネで彫り直し。

05ボディ色のメタリックブルーは塗装とデカールで再現。06塗り分けたダークブルーについては今回、クロエスのGXメタルダークブルーを下地に、同GXディープクリアブルーを上塗りしてデカールの色に近づけた。07ブルーで塗り分けたのは、フロントバンパーやボンネット、フロントフェンダーとドア下まわりにAビラーBビラーとなる。08デカールは大きいサイズから貼り付ける。特に両サイドは大判となっているので慎重に貼っていく。09赤い矢印はデカールの紺色メタリック、黄色い矢印は塗装で再現したもの。遜色ない色に近付けることができた。また、仕上げにはクロエスのスーパークリアIIを薄めに希釈し2コート吹き付け、中研ぎを挟んで更に薄めて2コート程行いコンパウンドで軽く磨いた。デカールのラッカーコートへの耐性は十分あるようでシワなどの発生は見られなかった。



VOLKSWAGEN
POLO R WRC 2016